



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ホシデン株式会社

コード番号 6804 URL <http://www.hosiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 本保 信二

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 072-993-1010

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	56,832	△38.8	△2,762	—	△1,312	—	△1,437	—
26年3月期第2四半期	92,798	41.1	△362	—	950	—	424	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 △1,514百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 2,154百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△21.74	—
26年3月期第2四半期	6.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	135,687	—	89,709	—	66.1	—
26年3月期	123,179	—	91,560	—	74.3	—

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 89,709百万円 26年3月期 91,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	△19.6	△800	—	400	—	200	—	3.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	72,710,084 株	26年3月期	72,710,084 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,580,784 株	26年3月期	6,580,427 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	66,129,483 株	26年3月期2Q	66,130,109 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 予想数値の修正に関する事項は、本日(平成26年11月7日)公表の「営業外収益(為替差益)の計上、および平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- (2) 本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
4. 補足情報 .....	9
セグメント別販売実績 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月～平成26年9月)の世界経済は、米国では雇用環境、住宅投資や個人消費が持ち直し、景気は回復傾向にあります。欧州においては、中心であったドイツ経済にかげりがみえ、減速傾向となり、中国など新興国においても回復が弱く、また、日本経済においては、消費税率引き上げに伴う反動の影響を受け、景気回復は緩やかなものとなっております。当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連向けや産業機械関連向けが堅調に推移し、中国・アジア市場向けのスマートフォンやタブレットPC関連向けも堅調に推移しましたが、薄型テレビ、ノートPC関連向けは低迷が続く状況となり、全般的には需要拡大がやや鈍化の推移となりました。

このような状況の下で、当社グループでは、自動車関連向けにつきましては、引き続き堅調に推移したものの、スマートフォンを中心とした移動体通信関連(携帯電話)向けやアミューズメント関連(ゲーム機器)向けは低調な推移となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、568億32百万円(前年同期比38.8%減)、営業損失は27億62百万円(前年同期は3億62百万円の営業損失)、経常損失は為替変動に伴う為替差益(13億27百万円)の発生があり、13億12百万円(前年同期は9億50百万円の経常利益)、四半期純損失は14億37百万円(前年同期は4億24百万円の四半期純利益)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの売上高の状況は次のとおりであります。

機構部品につきましては、スマートフォン関連用部品や、アミューズメント関連向け等の減少により、408億28百万円(前年同期比49.4%減)となりました。

音響部品につきましては、スマートフォン関連用部品や、自動車関連用部品の増加により、85億10百万円(前年同期比28.0%増)となりました。

液晶表示素子につきましては、自動車関連用部品が伸び、35億18百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

複合部品その他につきましては、情報事務機器関連用部品等の増加により、39億75百万円(前年同期比86.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権及びたな卸資産の増加等により前連結会計年度末比125億8百万円増の1,356億87百万円となりました。又、負債につきましては、仕入債務の増加等により前連結会計年度末比143億59百万円増の459億77百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比18億50百万円減の897億9百万円となり、自己資本比率は66.1%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比9億55百万円増の552億14百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は31億77百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失12億73百万円、売上債権の増加19億19百万円、たな卸資産の増加67億円、仕入債務の増加137億21百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、16億46百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出17億51百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、6億5百万円となりました。これは主に配当金の支払3億30百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「営業外収益(為替差益)の計上、および平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今回の業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル108円を前提としております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率に変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が8百万円増加し、利益剰余金が5百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,228	32,600
受取手形及び売掛金	23,314	25,588
有価証券	22,500	23,000
商品及び製品	7,040	7,511
仕掛品	3,543	3,397
原材料及び貯蔵品	11,992	19,223
その他	5,410	5,706
貸倒引当金	△48	△57
流動資産合計	105,980	116,970
固定資産		
有形固定資産	12,098	12,882
無形固定資産	315	329
投資その他の資産		
投資有価証券	3,652	3,891
その他	1,195	1,721
貸倒引当金	△62	△107
投資その他の資産合計	4,784	5,504
固定資産合計	17,198	18,716
資産合計	123,179	135,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,004	28,075
短期借入金	7,293	7,142
未払法人税等	950	393
その他	3,902	3,501
流動負債合計	25,150	39,113
固定負債		
退職給付に係る負債	5,507	5,882
その他	960	981
固定負債合計	6,467	6,864
負債合計	31,618	45,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,596
利益剰余金	66,001	64,227
自己株式	△6,795	△6,796
株主資本合計	92,462	90,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,150	1,256
為替換算調整勘定	△2,030	△2,228
退職給付に係る調整累計額	△21	△6
その他の包括利益累計額合計	△902	△979
純資産合計	91,560	89,709
負債純資産合計	123,179	135,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	92,798	56,832
売上原価	87,864	54,000
売上総利益	4,933	2,831
販売費及び一般管理費	5,295	5,594
営業損失(△)	△362	△2,762
営業外収益		
受取利息	17	29
受取配当金	24	28
為替差益	1,213	1,327
その他	141	126
営業外収益合計	1,396	1,511
営業外費用		
支払利息	76	53
その他	7	7
営業外費用合計	84	61
経常利益又は経常損失(△)	950	△1,312
特別利益		
固定資産売却益	25	13
投資有価証券売却益	14	36
特別利益合計	39	49
特別損失		
固定資産除売却損	5	9
その他	0	0
特別損失合計	5	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	984	△1,273
法人税、住民税及び事業税	489	189
法人税等調整額	69	△24
法人税等合計	559	164
四半期純利益又は四半期純損失(△)	424	△1,437



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	424	△1,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	528	105
為替換算調整勘定	1,200	△198
退職給付に係る調整額	—	15
その他の包括利益合計	1,729	△76
四半期包括利益	2,154	△1,514

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	984	△1,273
減価償却費	1,587	948
売上債権の増減額(△は増加)	△5,873	△1,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,365	△6,700
営業未収入金の増減額(△は増加)	△3,437	392
仕入債務の増減額(△は減少)	21,118	13,721
その他	△1,798	△1,354
小計	△1,784	3,814
利息及び配当金の受取額	40	52
利息の支払額	△78	△54
法人税等の支払額	△1,054	△810
法人税等の還付額	34	175
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,842	3,177
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	99	108
有形固定資産の取得による支出	△3,506	△1,751
その他	50	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,355	△1,646
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,050	△274
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△330	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,719	△605
現金及び現金同等物に係る換算差額	956	30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,521	955
現金及び現金同等物の期首残高	49,972	54,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,450	55,214

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## セグメント別販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間	
	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	
セグメントの名称	金額(百万円)	構成比
機構部品	40,828	71.8%
音響部品	8,510	15.0%
液晶表示素子	3,518	6.2%
複合部品その他	3,975	7.0%
合計	56,832	100.0%